

日本外科学会学術集会における演題取り下げにおける規定

学術団体・学会における学術集会は、会員非会員を問わず、研究成果を発表するとともに、その研究に対する学術的批評を受ける科学的討論の場である。本来自ら責任を持って臨むべき学術的・科学的な学会発表に対して、その価値と重要性を軽視する風潮があるように思われる。例えば、演題採択を受けていながら何の連絡もなく発表に現れない、あるいはポスター等を掲示しない(no show)ケースは特定の海外の国から演題で頻繁に見受けられる。また、事前の通告なく発表者が突然交代することもしばしば遭遇する。

臨床現場を担う若手・中堅の外科医が担当患者の急変などの対応で学会場に出張することが困難になる場合が起こることは十分に理解することができる。しかしながら、学術集会における発表は発表者の学術的価値を問う場であり、責任と矜持が伴わなければならない。倫理委員会では、何等かの理由で発表を取り消す、あるいは自ら発表ができない事情が生じた場合には一定のルールに従った届出を行うことが必要であるとの結論に至った。

1. 応募した演題を取り下げる場合

①演題の採択から学術集会の前日まで(この方法を標準として推奨する)

所定の演題取り下げ書式に取り下げ理由を記入したうえで学術集会事務局へ提出する。

②学術集会会期中

所定の演題取り下げ書式に取り下げ理由を記入したうえで学術集会事務局へ提出するとともに、事務局へ演題取り下げをする旨を電話またはメールで発表前に連絡する。

③学術集会の予定発表時間を過ぎた場合(no show)

所定の演題取り下げ書式に取り下げ理由を記入したうえで学術集会事務局へ提出する。関連する委員会で適切性について協議を行い、何らかのペナルティを課すかを判断する。

④演題取り下げの連絡がない場合(no show)

翌年(あるいは数年間)の外科学会学術集会での発表を認めない。

2. 発表者を交代する場合

①演題の採択から学術集会の前日まで

所定の書式に演者交代理由を記入したうえで学術集会事務局へ提出する。

②学術集會会期中

所定の書式に演者交代理由を記入したうえで学術集会事務局へ提出するとともに、事務局へ演題取り下げをする旨を電話またはメールで発表前に連絡する。

③発表者交代の事前連絡を怠った場合

文書で改善を求めるとともに、所定の書式に演者交代理由を記入してもらう。